

日本食肉加工情報

毎月1回発行

7

2019 JUL.

No.829

CONTENTS

●特集

食品機械産業の現状について

●窓

第44回 日本ハム・ソーセージ工業協同組合
監事 堀内 朗久氏 「変化に対応し、存在価値を高める」

●業界をめぐる動き

- ・藤井良清氏に叙勲の栄
- ・日本食肉加工協会 平成30年度活動報告と令和元年度の事業計画
- ・日本ハム・ソーセージ工業協同組合 平成30年度活動報告と令和元年度の事業計画
- ・平成30年度資材の共同購入事業及びリース事業の実施状況について
- ・食肉科研 (KAKEN) コラム #48

●ひろば

第42回 杉本食肉産業株式会社



特集をちよっと読み



SPECIAL
EDITION

特集

食品機械産業の現状について

食品機械産業の概要

食品機械は、農産物、畜産物、水産物などの原料を加工処理し、多種多様な食料・飲料・調味料等を製造する機械で、食品別に多種多様な機種がある。また、当業界はユーザーの需要志向による多品種少量の受注生産型産業であり、機種別に得意分野をもつ中小規模の製造事業者が多い。市場は成熟化しているが、需要先の食品産業は好不況に影響されにくいいため、食品機械製造業は比較的安定した業種である。

また、販売先は90%以上が国内向けで、輸出比率は6~7%と低く、輸入比率も5~6%と低い。近年、ユーザーである食品製造業大手各社はアジア地域の飛躍的な経済成長

海内 栄一 一般社団法人日本食品機械工業会 会長

や人件費の割安感等から中国を中心としてアジアへ製造拠点を移す動きが見られてきたが、最近ではタイ、ベトナムなどASEAN地域やブラジルなど南米地域への進出も見られるようになった。ただし、本格的な海外生産は、一部企業を除き、余り積極的に行われていない。

我が国食品機械のここ10年間の市場動向をみると、2009年のリーマンショックの影響による落ち込みを底に、2011年の東日本大震災も乗り越え、機種による多少の凹凸があるものの我が国経済の緩やかな景気回復の流れに沿って上昇基調で安定的に推移している。

続きは定期購読で!

定期購読のお問い合わせ

一般社団法人日本食肉加工協会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合 総務部

TEL : 03-3444-1211 FAX : 03-3441-8287 E-mail : ask@hamukumi.or.jp